

棚田に吹く風

2019
春
Spring
季刊

- 2 特集
重要文化的景観に選定された棚田
- 5 フォトエッセイ
棚田三昧
- 6 棚田・里山からのたより
棚田ある農村景観を保全し
千年つづく村をめざして！
京都府福知山市大江町毛原
- 8 ヨネちゃんの ニッポン全国
棚田オーナー制度紹介
特選 棚田の逸品
- 9 棚田博士は今日も行く
若狭湾に臨む二条院讃岐姫居館跡にある棚田
福井県小浜市田烏
- 12 会員のひろば
- 14 かつどうノート
スタッフのつ・ぶ・や・き
- 15 Project Report



重要文化的景観に 選定された棚田



和歌山県有田川町蘭島

最近、「重要文化的景観に選定された棚田」というキャッチコピーを聞くことがあります。そもそも文化的景観って何でしょう？

文化的景観は、文化財保護法に基づいて国（文部科学大臣）が選定するれっきとした文化財です。近年、伝統的・歴史的な生活や風土に深く結びついた棚田や里山などの景観が、開発によって急速に失われており、その重要性を見直すため2004年に文化財保護法が改正されました。そして「文化的景観」が「地域における人々の生活又は生業^{なりわい}及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの」と定義されました。特に重要なものは、都道府県または市町村の申出に基づき重要文化的景観として選定されます。

2006年に重要文化的景観として滋賀県近江八幡市の「近江八幡の水郷」が初めて選ばれ、2019年2月現在、64件が選定されています。棚田としては、2008年7月28日に佐賀県唐津市の「葎野の棚田」と熊本県山都町の「通潤用水と白糸台地の棚田景観」が初めて選定されました。

今号は重要文化的景観に選定された棚田を紹介します。

■ 重要文化的景観の選定基準

- ① 水田・畑地などの農耕に関する景観地
- ② 茅野・牧野などの採草・放牧に関する景観地
- ③ 用材林・防災林などの森林の利用に関する景観地
- ④ 養殖いかだ・海苔びびなどの漁ろうに関する景観地
- ⑤ ため池・水路・港などの水の利用に関する景観地
- ⑥ 鉱山・採石場・工場群などの採掘・製造に関する景観地
- ⑦ 道・広場などの流通・往来に関する景観地
- ⑧ 垣根・屋敷林などの居住に関する景観地

※前項各号に掲げるものが複合した景観地



大原新田 島根県奥出雲町

2014 (平成26) 年3月選定

中国地方で初めて重要文化的景観として指定された、島根県奥出雲町の「奥出雲たたら製鉄及び柵田の文化的景観」。指定範囲は総面積1563ヘクタール余り。7箇所の景観構成要素のうち5箇所までが柵田を含んでいる。他の2箇所は大鉄師(たたら経営者)の居宅など。

大鉄師として名の残る櫻井家、絲原家、卜蔵家のうち、絲原家により鉄穴流の跡地に開かれたのが大原新田。西日本に多い石積みではなく土坡の柵田である。1枚の面積が広く、その整然としたさまは現代の技術で

圃場整備したかと思間違うほど。

山一つ隔てた金川水系から、約3キロにわたって山中を這うように用水路が引かれており、当時の測量技術の高さが窺える。

奥出雲はたたら製鉄で栄えた地で、各地に遺構も点在している。地域住民はその歴史に誇りを持ち、耕作維持の努力を続けている。大原新田では昨年度に営農組織を農事組合法人化した。水系単位での広域予算配分も考慮しながら、まずは農業組織としての自立を目指すして活動していきたいという。訪問の際は近隣の追谷地区、福頼地区の柵田景観も訪ねてみたい。

春日の柵田

長崎県平戸市

2010 (平成22) 年2月選定

長崎県平戸市の「平戸島の文化的景観」は、①無形の要素(かくれキリシタン信仰など)に関わる文化的伝統や社会システムを背景とする集落、②柵田や牧野などの生業空間、③原生林や里山などの自然空間、の要素によって構成されている。これらは文献、絵図、布教に訪れた宣教師の報告などにより16世紀頃からその存在を確認することができる。指定範囲は総面積1455ヘクタール余り。②の中で春日の柵田は約450枚、16世紀より前に既にある程度造成されていたと考えられ、海岸から山間部までよく耕作されており、現在も放棄は比較的少ない。谷の上方の柵田の石垣の高さは数メートルにも及び、実に見事。2018年、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」がユネスコの世界文化遺産に登録。構成資産には春日集落と、信仰の対象としての安満岳が含まれている。

平戸島の西海岸沿いには他にも立派な柵田群がある(獅子町、根獅子町、飯良町など)。いずれも指定範囲に含まれている。





姨捨の棚田

長野県千曲市

2010（平成22）年2月選定

長野県北部の姨捨山麓に約1500枚からなる棚田が展開している。湧水を利用した耕作が始まった近世初頭には田畑が混在していたが、やがて上流の「大池」から更級川を経由した灌漑用水ができ、畦畔を越えて導水するいわゆる「田越し」の手法や、「ガニセ」と呼ばれる暗渠による排水手法が導入された。こうして稲作が主体となり、棚田は大きく広がった。国指定の名勝で、月見の名所としても知られている。

日根荘大木の農村景観

大阪府泉佐野市

2013（平成23）年10月選定

大阪南部・泉州の平野部から和泉山脈の犬鳴山麓にかけて、中世の荘園に由来する日根荘の農村が広がり、中でも大木地区は榎井川が削った河岸段丘に位置する。荘園だった当時から、限りある水を最大限活かせるように水路や溜池が配置され、多くの史料や絵図に残されているが、それらが現在も生活の中で受け継がれていることが評価されている。



四万十川流域の文化的景観

上流域の山村と棚田

高知県梶原町

2009（平成21）年2月選定

高知県北西部、四国の大石川四万十川の上流域にある梶原町は、極めて平地が少なく、石垣で築かれた棚田もほとんどが小さい。源流域であるため水源も乏しく、少ない水の人々が合理的に活用し、助け合いで守ってきた財産である。1995年の第一回全国棚田（千枚田）サミットの開催地であり、神在居の棚田は棚田オーナー制度発祥の地でもある。



その他に重要文化的景観に指定されている棚田（平成31年2月26日官報告示分まで）

奈良県明日香村	奥飛鳥の文化的景観	佐賀県唐津市	蕨野の棚田
和歌山県有田川町	蘭島及び三田・清水の農山村景観	熊本県山都町	通潤用水と白糸台地の棚田景観
徳島県上勝町	檜原の棚田及び農村景観	熊本県産山村	阿蘇の文化的景観 産山村の農村景観
愛媛県松野町	奥内の棚田及び農山村景観	大分県日田市	小鹿田焼の里
福岡県豊前市	求菩提の農村景観	宮崎県日南市	酒谷の坂元棚田及び農山村景観

棚田三昧



【最終回】

写真・文
梅野 秀和

石垣の中に
菜の花の黄色が映える
春の棚田

佐賀県唐津市相知町
わが家の
蕨野の棚田

春の蕨野の棚田は、一面、菜の花でいっぱい。棚田は、ごつごつとした自然石で横に整然と細長く積み上げられ、石垣が幾重にも重なり、田んぼは、見渡す限り黄色い花のじゅうたんて覆われる。

十数年前から、棚田の多面的利用というところで、菜の花の種がまかれている。棚田への観光客を呼び込み、棚田を知ってもらおうという取り組みだ。

菜の花は、もともと水田の裏作として広く栽培され、菜種油の原料になっていたが、最近レンゲソウと同じく田んぼの緑肥として土

と一緒に鋤き込まれることが多い。

農家の人には怒られそうだが美しい光景だ。今年撮影できた光景が来年も撮影できるとは限らない。この美しい光景を目の当たりにして、後世に残したいと思うのは私だけだろうか。

「もう、息子は百姓をせん（しない）と言っている。この棚田を作るのは、おい限りばい。（自分限りだ）」。

田んぼで出会った古老のこの言葉が忘れられない。

梅野 秀和 うめの ひでかず

1947年6月佐賀県生まれ。九州各地の風景を中心に撮影。現在は古民家を背景に山里の暮らし取材中。写真集として『九州花百景』『九州の一本桜』『だんだん田んぼの詩』などがある。2006年発行の写真集『棚田～たんぼの四季～』は第9回日本自費出版文化賞受賞。



蕨野の棚田

棚田・里山
からの
たより



棚田ある農村景観を保全し 千年つづく村をめざして！

毛原の集落はこんなところ

京都府北部の福知山市、まちの中心には、来年のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公・明智光秀が築いた福知山城、その北の端には鬼伝説の大江山があり、その麓に位置する小さな集落が「毛原」です。

ここには戸数12戸、村民は27名が生活しています。日本の棚田百選のひとつで、周囲を里山に囲まれた約600枚の棚田が広がる農村の原風景が残り、「毛原の棚田」として親しまれています。

棚田の景観のなかに化粧地藏さん、イタリアンレストラン・チャペルのある森の中の結婚式場、ブルーベリー農園、どぶろく醸造所、ゲストハウス、かやぶき古民家があり、多くの人が訪れる「ふしぎ・かわいい村」です。

特に地域資源の活用と、小さな集落ならではの良さを生かした村民を中心とした集落を元気にする活

動は、広く注目を浴びています。

継続は力なり。棚田保全に 取り組み四半世紀

棚田の農村の原風景を保全していこうと、平成9年から開催した「棚田『体感』ツアー」は、田植え、稲刈りの体験イベントで、小学校の児童やJAの若手職員さんも参加して120名規模の交流となっております。

平成10年から開催した「棚田オーナー制度」は、遊休農地を活用し、農家とオーナーが協同してお米作りをするもので、昨年は12組のオーナーが参加。しんどい作業や悪天候による苦勞もありますがみんな力で合わせ頑張っています。この事業を両輪として、集落の情報発信、農地の保全、移住定住者の受け入れを目的に、都市住民との交流を深める取り組みを続けてきています。



1：棚田の景観／2・3：オーナーさんの田植え／4：ピザ作り体験会

新たな事業展開へ

平成27年度の「美しい農村再生支援事業」を契機に、村民と有志で「毛原の棚田ワンダービレッジプロジェクト」を組織して、ワークショップで将来構想や事業計画を話し合うなかで、棚田の保全のための灌漑用水路や農道の舗装を行い、併せて、水車小屋の整備、体験イベントのピザ窯づくりなどで都市住民との交流基盤を広げています。

おばちゃんパワーを生かせ

毛原ならではの商品開発を考えよう！ だが、加工所、設備がない。そこで、クラウドファンディングで目標100万円の資金調達に成功！それを原資に調理場を改修し、真空包装機等を購入して加工品づくりが始まります。

今から30年以上前に、高齢化により途絶えていた「黒豆の粕漬け」のレシピを頼りにして女性の思いを実現します。その商品は、毛原の珍味「復刻版「黒豆の粕漬け」」。口上は「世界でここにしかない珍味」。まだまだ小遣い程度の収入ですが、



黒豆の粕漬けづくり

■ 棚田へのアクセス

【公共交通】 丹鉄大江山口内宮駅下車、2Km徒歩30分。または丹鉄大江駅前から市営バスで大江山の家行きに乗りバス停毛原下車すぐ

【自動車】 京都縦貫自動車道の舞鶴大江ICから国道175号、県道63号を経由して県道9号に入る。大江山口内宮駅を1.5Km過ぎたところを右折するとすぐ

■ お問い合わせ

毛原の棚田 ワンダービレッジプロジェクト
Tel. 090-1024-0531
Mail : k.mizuyan0409@gmail.com



集まると世間話に花が咲き、新たなパッケージや商品開発の話で盛り上がりです。これがおばちゃんの元気の源となっています。

縁側喫茶・マップ、PR動画の作製など

昨年からの民家の縁側を活用した「縁側喫茶」を開催しています。毛原へ訪れた人との交流の場で、縁側に腰かけて棚田の景観を眺め、コーヒー（和菓子付）を飲みながら懇談の場となり、素朴でユニークな取り組みとなっています。また、毛原の良さを広く知ってもらうために、村民全員の似顔絵

の載ったマップと棚田をイメージしたパンフレットを作成。そして、ドローンによる空撮動画を作成しyoutubeなどで公開しています。
(https://youtu.be/bh_inXork)

今は、毛原の地域資源を題材にしたPR動画や商品開発と結び付けた創作民話（逸話）づくりを進めています。

“忘れ物を届ける村” “毛原”をめざして！

毛原は村民みんなが主役。千年続く里をめざし「毛原住民憲章」を制定し、7項目の行動理念で活動しています。

この集落が将来に向けて持続するためには、むやみな発展や経済活動を目指すのではなく、村民を一つの家族ととらえ、みんなが共助の気持ちで、生き甲斐をもって楽しく生活できるシステムを創ろうと、地域通貨「けーら」も活用し、集落内での暮らしに必要な仕事を力バールして持続できる経済の循環を考えたりづくりを進めています。

(毛原の棚田事務局 櫻井一好)



毛原住民憲章

ヨネちゃんの



ニッポン全国 棚田オーナー制度紹介

第十八回

第十八回は長野県 「よこね田んぼ」という 棚田を紹介するわね!

よこね田んぼは、長野県飯田市の千代地区に位置していて、南信州で唯一「日本の棚田百選」認定を受けた美しい棚田なのよ。



オーナー制度の会費は年間20,000円だけど、会費は会員種別によって多少異なるので、申し込みの際にはちゃんと問い合わせせてね♪

田植え、稲刈り、収穫等、年間を通して田んぼでは作業があるけれど、基本的には自由参加よ!遠方に住む人にとってはありがたいわね。



次のオーナー募集は来春よ!よこね田んぼ保全委員会まで問い合わせせてみてね!



収穫時には参加コース(会員種別)によってもらえるお米の量が変わるわ。定量で5~10kgよ!
他にも、境沢登りツアー、釣り大会、自然ふれあい体験教室、アウトドアイベント、星鑑賞会、農業体験、生き物観察、酒蔵見学、新酒の会などオーナーが楽しめる楽しい特典が満載よ!さらに昨年からは、よこね田んぼの米だけで造った限定純米酒がもらえる「たかね錦(酒米)オーナー」も新たに始まったそうよ!

こちらもチェックしてみてネ! /

棚田オーナー募集地域紹介サイト

棚田百貨堂 検索

特選

棚田の逸品

第六回

山口県長門市

ライススイーツ

東後畑の棚田

今年の全国棚田サミットの会場となる山口県長門市で生まれたライススイーツ(米菓子)。棚田米を原料に、2018年に開発された。

東後畑の棚田は110枚7ヘクタール、日本の棚田百選にも選ばれている。棚田は向津具半島全域に広がっており、全体では600ヘクタールにもなるという。棚田のすぐ近くには、アメリカCNNで「日本の最も美しい場所31選」に選ばれた元乃隅神社があり、年間100万人以上の観光客が訪れる。「何とかこれを利用できないだろうか」と、長門市観光コンベンション協会のもとで、ゆや棚田景観保存委員会と地元企業が連携して商品開発に取り組み、試作を重ねてようやく誕生した。小判型の「ライスワーズ」とサイコロ型の「こめごろん」。通常の流通から外れてしまう小粒の米や古米をうまく利用、昨年暮れに先行販売を実施し、改良を加えてこの春から本格販売へ移行予定。現在、開発最終段階のライススー

プもある。
棚田は地域の宝物。何とか守り続けたいと、ハーブや花を植えて観光や新たな商品に繋げたり、多様な仕事を増やそうと、努力を続けている。



- ライスワーズ(焼菓子 地酒味/海塩味/長門ゆずき味) 35g 240円
- こめごろん(米ラスク 抹茶・きなこ・プレーンの三種ミックス) 35g 340円

HPでこれらの商品を購入できます(3月下旬から本格販売予定)。

<https://nanavi.jp/senzakitchen/products/sweets/>



棚田博士 は 今日も行く!

中島峰広の
全国棚田行脚

若狭湾に臨む二条院讚岐姫居館跡 にある棚田

福井県小浜市田烏 たがらす



なかしま みねひろ
中島 峰広 (棚田博士)

早稲田大学名誉教授。学術博士。NPO
法人棚田ネットワーク代表。全国棚田
(千枚田)連絡協議会理事、棚田サミッ
ト開催地選定委員会委員長。1933年
宮崎県生まれ。早稲田大学教育学部地
歴科卒。2004年まで早稲田大学教育
学部教授。著書に『日本の棚田—保全へ
の取組み』『百選の棚田を歩く』『続・百
選の棚田を歩く』『棚田 その守り人』(以
上、古今書院)。現在、百選外の棚田に
ついての執筆準備のため全国行脚中。

小浜市は福井県西部、京都と鯖街
道で結ばれる海浜都市。その東端に
ある田烏はリアス式海岸で知られ
る若狭湾に臨む半農半漁の集落で
ある。2018年5月22日発売の週
刊誌「女性自身」に日本を代表する
棚田、輪島市白米千枚田、熊野市丸
山千枚田、鴨川市大山千枚田、十日
町市星峠などと並び紹介されてい
る小浜市田烏の写真を見て驚いた。
白米同様、海に臨む見事な景観、し
かも国道沿いにありながら何故全
国的に知られなかったのか不思議
でならない。多分圃場整備されてい
るので棚田と思わなかったのかも
しれない。

平安の姫も見た「沖の石」

早速2018年6月中旬田烏を
訪ねることにした。東海道新幹線で

米原へ、そして北陸本線で敦賀まで
行き、さらに小浜線へ。小浜駅から
田烏までは行政の支援を受ける「あ
いあいバス」が1日6往復運行さ
れている。バスは駅前から始まる国
道162号を辿る。駅を背にして
直進、小浜湾を左に見ながら北上す
る。甲ヶ崎で東に方向を転じ、阿納
トンネルを抜けると左手に見える
海は若狭湾にかわる。3つ目の奈胡
崎トンネルを抜けた海側に目指す
棚田「かんにゃ」がある。しかし、
ここには停留所がないため、田烏漁
協前の停留所まで行き、少し戻ること
になる。

「かんにゃ」は、若狭湾に突き出
す奈胡崎半島の根元、海際の標高10
〜50mの傾斜6分の1の斜面にあ
る棚田である。百選の棚田で知られ
る輪島市白米千枚田などと同様、海

際にあるのは夏の日本海が穏やか
で、台風時にも北寄りの強い風を受
けることがなく、塩害の心配がない
ためと考えられる。

海を望む一角には「二条院讚岐姫
居館跡」の石碑が建ち、小倉百人
一首「わがそでは潮干に見えぬ沖の
石の人こそしらねかわく間もなし」
の切ない恋歌が刻まれている。居館
跡というからには讚岐姫が住んだ
ことになるが、それについては諸説
あり、いずれも定かではない。それ
はともかくとして、歌詞にある沖の
石は実在し、2万5千分の1の地形
図にも明記されている。「かんにゃ」
からも見ることができ、若狭湾口に

あつて波間に浮かぶ小さな岩礁だ。

昭和の一大圃場整備

棚田は、竣工碑によれば昭和60年から63年にかけて圃場整備が行われ、500枚以上の田が100枚に整理され、小さな曲がりくねった形の石積みの棚田が整然とした長方形の土坡の棚田に変わったという。この時貯水のために6つのコンクリート製タンクが設けられ、土水路はパイプ配管に変わり、各圃場にはバルブ式の給水栓が設置された。これらの整備が一助になっているのか耕作放棄地や休耕地がほとんど見られないことは、その整然さを一層際立たせている。

海に面し、東西にひろがり、内陸から海へ、さらに西から東に向かつて傾斜し、それが2つの小河川により3つのブロックに分かれている。西のブロックが最も面積が広く、全体の半分近くの枚数を占める。中央に農道が走り、両脇に長方形の棚田が整然と並んでいる。一枚の大きさは1〜4畝、2・5畝前後のものが多い。法面の高さは0・5〜1畝ほど、2畝前後のものが大半で、一番高い10畝の土坡には芝桜が植栽されている。このブロックの東端に讃岐姫の石碑が立っている。中央のブロックは東西の区画に分かれ、西の区画では海側に10畝ほどの広さの田が1枚あるが、山側は小さく、大部分が1〜2畝程度、法面の高さは2畝前後だ。これに対し東の区画ではコンバインの普及で無用になった高さ3〜4畝のハサ木が

30本近く残っているが目立つ。かつてハサ掛けに利用されていた時には海風を受けてよく乾いていたそうだ。田は比較的大きく、4畝前後、法面は1〜2畝の高さである。東のブロックは全体の面積が小さく、一枚が1畝前後の田が6枚ほどあるにすぎない。

地元のキーパーソン 「善右衛門」さん

地元では田烏のキーパーソン、山下善右衛門の屋号で呼ばれる山下善嗣さん62歳に会った。家族は市の関連機関に勤める妻59歳と小学校職員の次女24歳の2人。高校卒業後、小浜市役所に入り、農政・税務・観光などの部署で働き、商工観光課長などの管理職を経て60歳の定年

で退職した。15歳の時に父親を亡くしたため、農作業を担い、母が経営する民宿を助けてきた頼もしい後継者、世帯的には兼業農家である。現在は、3か所に分散する8枚の棚田30畝を耕作、そのうちの5枚、15畝が「かんにゃ」にある。所有する機械は180万円で購入した18馬力の新品のトラクター、友人にもらった歩行型4条田植機。中古品を買った2条刈コンバイン、乾燥機、籾摺機などがすべて。収穫したコメは飯米になるほかは田烏へしこなれずしの原料として用いられるそう。

実働部隊としての 「我袖倶楽部」の結成

棚田保全の取り組みは、中山間地直接支払制度の受け皿としての田烏西部農地保全組合が担っている。これまで組合長は3人が務めたが、山下さんはスタート時から連続して会計を担当、実質的な組合長の存在といえる。この組織の下にあるのが我袖倶楽部だ。それは市から公民館活動費としての50万円の使途の相談を受けたことに始まる。地元には青年会のほかは長寿会しかなく、



1：圃場整備された棚田／2：上から俯瞰した棚田／3：バルブ式給水栓／4：山下善嗣さん

その間の壮年グループを吸収する団体の創設が考えられた。

その結果、2011年に「かんにゃ」の棚田を所有する5人の兼業農家によって倶楽部が結成された。代表は電機メーカーの社員64歳、副代表が市職員の山下さん、設計事務所の所長67歳、高校の先生51歳、商工会館役員71歳の5人の壮老年。現在の会員は18名、そのうちの10名が「かんにゃ」の棚田耕作者だ。具体的な取り組みが始まったのは2013年、田植え後の5月と稲刈り後の9月に棚田キャンドルが実施されるようになった。棚田の畦にペットボトルを半分に切った円筒形の容器に水を入れ、円筒形のローソクを浮かせたキャンドル1500本に点灯するもの。田鳥の長寿会・青年会・子供会・婦人会などが参加、ボランティアも加わり総勢50名で点灯、そして2時間半後の消灯作業を行うという。10回目の今年は5月のみの実施になるそうだ。

名産「へしこなれずし」

もう一つの取り組みが「田鳥へしこなれずし」の生産販売だ。田鳥は昭和初期から40年代後半まで

100トクラスの巾着網漁船を5〜6隻も擁する全国でも有数のサバの水揚げを誇る漁港だった。現在も市が経営するサバの養殖場があり、漁協員が給餌の作業に当たっているそうだ。しかし、これは刺身用で価格が高いため、原料にするサバは島根県境港で水揚げされたものを使用するという。3月に仕入れたサバを廃校になった田鳥小学校の調理室で捌き、塩漬け・発酵させたものがへしこなれずしだ。1000本を生産し、12〜3月に商品として1本2000円で販売しており、地元での評価が高いことから、現在全国展開を模索しているところだ。

なぜ休耕地や放棄地が少ないか

最後に山下さんと二人で「かんにゃ」の棚田に休耕地や放棄地がほとんどみられないのは何故か考えてみた。長方形に整備された棚田の一边には必ず農道があり、家から乗ってきた軽トラを横付けすることができ、勿論トラクターなどの機械類の侵入も容易だ。しかし、一枚が2〜3アと狭く、耕作者には作業が容易で楽だという意識はほと

んどないという。それよりも高額の負担金を払い、ようやく数年前に償還が終わるほどの思いをしてご先祖が残してくれた棚田を簡単には見捨てることができないうという思いが強いと仰る。しかし、耕作者の高齢化は確実に進んでおり、近い将来耕作を止める人が出てくることは確実。その時に我祖倶楽部がどれだけ支えられるか、その力量が問われることになるだろう。

田鳥の棚田へのアクセス



【公共交通】 JR小浜駅前から行政支援のあいおいバスで泊・田鳥行き（1日6往復）に乘车。バス停「田鳥漁協前」で下車し海岸線沿いに1km程戻る。小浜駅前からの所要時間はバス25分、徒歩15分ほど

【自動車】 舞鶴若狭自動車道の「若狭上中IC」より県道22号を若狭湾に向かって進む、突き当りの国道162号を左折するとすぐ。ICから約6Km



左：二条院讀岐姫居館跡の碑 / 右：JAIによる看板

傾斜地農業の魅力

東京都調布市 高木 宏明

65歳で現役を退いて15年、季節感で言えば「白秋」から「玄冬」期に入っているわけですが「棚田病患者」になって、お付き合いの方々も、行く先々の土地も、食べ物や習慣も様変わりとなった。内外の傾斜地農業の現場に触れることで、これまでの人類の生き様、努力、苦勞を思い起こし、現在のポピュリズム、自国第一の利己主義やAI、IoT、BIGDATAの効率万能の風潮と違った価値観を思い起こせる。

災害のニュースに触れてもその土地柄や人々の暮らしに思いがはしる。三陸、山古志、十津川、熊本、愛媛、広島、岡山だけでも傾斜地農業面積のなんと多いことか！ これから30年以内に起きるとされる南海・東海トラフの危機についても胸ふさがる思いだ。傾斜地農業については極東・南東アジアの水田稲作のみならず、お茶畑、柑橘類、根菜類でも水はけが良く日照時間に優れ、その産物にはプレミアムがつくのは、先のミラノ食博でも実感できた。昨年の小谷村・棚田SUMMITには欧州、ペルーなどからもATLA(Agricultural Terraced Landscape Association)の代表が参加し情報交換。優れた景観の紹介があり、マジョルカ島の石垣には驚嘆した。今後も交流が期待される。

絵画で表現した傾斜地農業



最近、山梨県・南アルプス・北杜市に縁ができて、田植え、稲刈り、ぶどう畑の草取り・蔓整備、果樹園の摘果・収穫の手伝いを楽しんでいる。農家の方々の付き合いは生活万般に渡る知識の宝庫で、味噌、梅干し、漬物、キムチ作り、餅つきなども伝授された。勿論農道整備、側溝の枝葉掃除などにも駆り出されるが、スズメバチ、猿鹿猪対策のKNOW-HOWも伝授される。村の行事の度に長年培った協力体制に舌を巻くばかりだ。稀代の暴れ川「御勅使川」の治水工事の歴史、日本三大狸犬の「甲斐犬」の存在、縄文遺跡の数々、日本の一地方に残る豊富な歴史実学に触れる日々である。

会員のひろば



会員の声募集!

「こんな活動をしています」「こんなことやります」という皆さんの声を編集部までお寄せください！「ご要望、感想やご質問でもOK！」(会員の声800字まで、会員レポート400字まで、写真も添えて) 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-18-16 トーシンハイム704号「棚田に吹く風 会員のひろば」宛 メールでも受け付けています ↓ hiroba@tanada.or.jp



会員さんの Best Shot!

会員のみなさんのベストショット募集!!



みなさんが撮影した棚田や作業風景の写真など、ベストショットをコメント(70文字程度)を添えて編集部まで送ってください。毎号、紹介させていただきます！送り先は下記。

〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-18-16
トーシンハイム704号
「棚田に吹く風 ベストショット」宛
メールでも受け付けています
⇒ hiroba@tanada.or.jp



スリランカの棚田

東京都渋谷区 石川公康

北海道より小さいスリランカ。島の中心部の都市キャンディから紅茶で有名なヌワラエリヤへ向かう途中で素晴らしい棚田を見渡すことが出来る。

金剛山の里 棚田夢灯り&アートフェスティバル2018

大阪府在住 棚田むすびの会代表 中崎 義巳

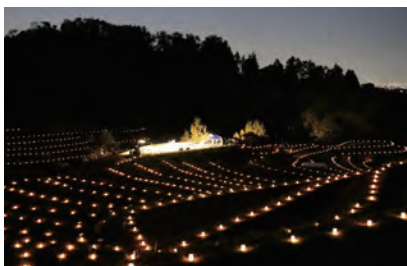
東京ドームをひっくり返してその中心に舞台があるような空間！平成30年11月10日大阪府千早赤阪村、日本の棚田百選「下赤阪の棚田」の中心にある一畝半の田を舞台に5組のアーティストが演奏、棚田に歌と音楽が響きわたりました。

ラストは空に浮かぶ三日月と棚田を照らす三千本の灯籠の中、シンガーソングライターの宮城愛さんの歌声とともに花火が打ち上がり、まさに音と光の競演でした。

下赤阪の棚田のライトアップは、平成21年に大阪のまちの魅力を外内に発信する「大阪ミュージアム構想」のベストセレクトシヨンに選ばれ、平成24年からは千早赤阪村農業祭と合流し「金剛山の里 棚田夢灯り&収穫祭」と名称変更、村のPR事業としての開催となりました。

ところが平成29年、台風21号が村に大きな被害を与え、棚田のライトアップは中止、事業そのものも見直しを迫られました。

そして平成30年、村の事業から村の若者を中心とした実行委員会の運営となり、「棚田全体をライブ会場にする」という斬新な発想が生まれました。このイベントを通じて、下赤阪の棚田も「保全活動の世代交代」と「新しい体制づくり」が着実に進んでいます。



編集部イチオシ! BOOK & MOVIE

2016年/日本/

監督:廣木隆一
出演:有村架純、小林薫、
吉行和子ほか

DVD発売中



夏美のホタル

森沢明夫の同名小説を原作に、写真家志望の女性が、父との思い出の森で知り合った親子や老人との交流を通して、成長していく姿を描く物語。
ロケの大半は千葉県で行われており、冒頭主人公の乗ったバイクが疾走するシーンの背景が、日本でも随一の棚田「大山千枚田」であり、日本の原風景の美しさに吸い込まれます。



3,600円(税抜)
小学館
2018年11月

小学館キッズペディア もっと大図解

12万部超のベストセラーとなった、モノのしくみをイラストや写真で徹底的に解説する子供たちに大人気のシリーズ第2弾。今取り上げられる、ドローンや3Dプリンターなどの最新技術からパンダや砂丘など自然の生き物や現象、暗渠や防犯カメラなどの身のまわりのもの104項目の中に、なんと「棚田」も登場します！実は棚田ネットワークが監修の依頼を受けて協力しています。階段状の田んぼのつくり方や田んぼの土台の種類、イネの干し方などを楽しく紹介しています。

新宿の環境学習応援団 「まちの先生見本市」

2019年1月26日 報告 水野 晴美

新宿の環境学習やエコ活動を応援する「その道一筋のまちの先生」が集まり、子供達に体験を通して一緒に考えてもらおうという取り組みに参加しました。

全校生徒130人強、天窓開閉式屋上プール、校庭は一般の人でも使用できる公園。その様な新宿の小学校に学ぶ生徒の環境学習発表など、大都会に暮らす方々が一生懸命に取り組む姿が印象的でした。ブースを訪れた子供や父兄は、初めて体験する竹筒を使った脱穀作業を楽しみながら先人の知恵に感心し、大切に粉を持ち帰っていました。



旧暦大晦日に トークイベント開催

2019年2月4日 報告 久野 大輔

旧暦の大晦日に代々木八幡の隠れ家イベントスペース「Visionary Work Garage」にて、「改元の年に考えたい『今なぜ棚田、旧暦なの?』」と題したトークイベントを開催しました。会場は20名を超える参加者で満員御礼になりました。

ゲストに写真家青柳健二さんをお迎えし、前半は棚田と旧暦との出会いから魅力。後半はスライドショーで世界の棚田や二十四節氣に合わせた季節の日本の棚田を見せていただきました。炊き立ての松崎町石部棚田の試食米も大好評で、旧暦と棚田の相性の良さを存分に知ってもらえるイベントになったのではないのでしょうか。



棚田ネットワークの
かつどうノート



このコーナーでは、棚田ネットワークのスタッフの活動や事務局のことなどを幅広くお伝えしていきます。

私の家には一応、家を囲むような細長い形の庭があります。庭いじりは好きな方でしたが、今回のつぶやきはアサガオにまつわるエピソードです。あれは5年くらい前のこと。順調に育ってきた6月後半のある日のことでした。梅雨らしくどんよりとした空模様でしたが・・・なんとヒヨウが降り始めたのです！

劣化したプラスチックのプランターに穴が開くくらいのヒヨウでしたから、植物たちも大打撃。アサガオは葉がボロボロになり、今年は大めかなと思いましたが。しかし！1週間ほど経つと、ダメージを受けた株の下から双葉が！まだ芽を出していないかった種が、芽を出したのです。その後は順調に育ち、花を楽しむことができました。

夏も終わりが近づき、これで今年も種を・・・と期待を膨らませていた所、実の部分に虫食いのような穴があいて種が無い、という異変に気付きました。また事件です！

どつやら、ヨトウムシと呼ばれる蛾の幼虫が大量発生していたようです。夜行性らしく、気付くのが遅れました。その年の収穫は減ってしまいました。翌年からは、庭の東側と南側に家が建って、日当たり良いスペースを確保しにくくなり、一旦やめていましたが、昨年になって西側の道路に面したスペースに、ゴーヤのカーテンの代替として復活しました。

幸い弦と葉はほとんど育ったのですが、いつまでたっても花が咲かない！ようやく咲いたのは涼しくなった9月でしたが、小さくて弱々しい花が多く、昨年は種を採るのを諦めました。

アサガオって、育てるのは難しくない方だと思うのですが。後から栄養のやり方・日の当て方等々、調べておいたので、次回はちゃんと咲いてくれたらいいなと思っています。

スタッフの
つ・ぶ・や・き
＜輪番制＞



今回のつぶやき人
事務局
ドラゴンフライ



千葉県鴨川市

川代棚田でお米づくり

あなたも気軽に棚田体験してみませんか？



昨年は象印ライスマイル会員を受け入れ、ご家族での参加も多く、延べ89名の皆さんに参加していただき、近年にたく盛況で無事終了しました。

今年は、新たな元号で迎えるプログラム。象印の受け入れはありませんが、地元川代のオーナー制度と行事を合わせ、現地集合方式で行うことにより、地元、当ネットワーク双方の負担の少ない方式で実施します。

近年、棚田が様々な場面で取り上げられ、認知度は大きく広がりましたが、棚田地域の抱える現状は厳しいものがあります。

実際に田んぼに入り、田植えや稲刈りをするることにより、棚田や農業、食べ物の大切さなどを実感していただく機会を提供することは当ネットワークの大きな活動の一つであり今年も継続します。

今年は5月3日（祝日）に田植え、9月1日（日）に稲刈りを予定しています。気軽に実際の棚田に触れる貴重な体験プログラムです。会員はじめ多くの方の参加をお待ちしています。（杉山 行男）

岐阜県恵那市

棚田ビオトープ プロジェクト

カエルの卵を探そう！



今年は春が早くヤマアカガエルが卵を産むかと心配しておりましたが、岐阜では3月13日に霰（あられ）が降り、また寒さが戻りました。原稿を提出する今は「菜虫蝶となる」ですので、モンシロチョウが飛ぶのでしょうか。坂折棚田の中央を流れる坂折川の川岸には、ネコヤナギがあり、フワフワとした毛を見るとヤマアカガエルの産卵の季節だな、と思うと同時に、花粉症の季節だなと思います。

さて、恒例の春の水溜りに卵を産むヤマアカガエルの卵塊を探す「第12回かえるの卵を探そう！」が3月21日（木祝）に開催されます。すでに参加申し込みがありましたので、あとは天候を心配するのみとなりました。ちなみに昨年は残念ながら雨で棚田ビオトープの見学のみとなりました。結果は次号にて報告させていただきます。

（相田 明）

静岡県松崎町

石部棚田で昔ながらの米づくり

8年目の米づくり始動



今年で8年目の石部棚田でのお米づくりが始まりました。イベントの第1回目は、3月23日・24日の畔切り、藁口作りの作業からですが、その前の準備である田起こし作業をするために、2月27日にスタッフ2名で石部棚田を訪れました。棚田は河津桜が少し散った頃ですが、鮮やかなピンク色と畔の所々に咲くタンポポの黄色が早春の棚田を彩っていました。

田起こしとは、田んぼの土を掘り返し、土に空気を入れ、刈り残されたイネの根元を土に混ぜ込み、冬の間眠っていた棚田を起こす作業です。棚田ネットワークの管理する8枚の田んぼの内、6枚は耕運機で起こし、2枚を昔ながらの三本鍬で手起こしします。今年の土は田起こしの段階で、とてもフカフカでいい感じ。7年分の藁口の藁が練り込まれた栄養満点の土で今年も美味しいお米を作るので、皆さんぜひご参加お待ちしております！（高桑 智雄）

日本の棚田百選を含む全国の美しい棚田212

増刷
決定

全国棚田 ガイド

TANADAS

中島 峰広 監修
NPO法人 棚田ネットワーク 編

棚田ネットワーク20年の活動の集大成！日本の棚田百選を含む全国の美しい棚田212カ所をオールカラーで紹介。各棚田の地域情報、景観の特徴、見どころや楽しみ方、棚田の成り立ちや保全の取り組み、イベント情報から特産品や周辺観光スポット、温泉、宿泊などの情報も満載です。もちろんアクセスマップ付き！全国の棚田を巡ってもよし、お気に入りの棚田を見つけてもよし、個性豊かな棚田の写真を眺めるだけでも楽しい。未来に残したい私たちの財産である全国各地の棚田の魅力が詰まった一冊です。

棚田の基本情報の他
特産品や周辺情報、
温泉・宿泊情報も掲載！

定価：2,700円(税込)

発行元：一般社団法人 家の光協会



全国の一般書店、Amazon、棚田ネットワークHPなどで購入できます。



わたしたちと「棚田の応援団」やりませんか！

棚田ネットワークは「棚田の保全に協力したい!」という会員によって自主的に運営されているNPOです。消えゆく美しい「棚田」をどのように保全していくことができるのでしょうか？一緒に考えませんか？ぜひ、私たちと棚田の応援団になりましょう！

会員になろう!

私たちは、会報誌「棚田に吹く風(年4回)」やホームページで豊富な棚田情報を発信しています。会員になりこれらの活動に参加してみませんか？

年会費

- 個人会員
 - 維持会員 1口1万円(1口以上)
 - 一般会員 4,000円
 - 応援会員 3,000円
 - 学生会員 2,000円

法人会員を募集しています!

私たちは、棚田を守るため、農山村の人々と都市住民双方の協力のもとに様々なプログラムを企画・運営しています。これらの社会貢献活動に賛同し、ご支援いただける企業・団体・事業主様を募集しています。詳細はお問い合わせ下さい。

年会費

- 法人会員(賛助会員)
- 1口3万円(1口以上)

興味があるけれど、なかなか行動に移れない。そんなあなたに、ぜひ読んでほしいのが、この「棚田の応援団」だ。ここでは、全国各地の美しい棚田の現状や、その保全の取り組みについて、詳しく紹介している。また、各地の棚田の魅力を伝えるだけでなく、その歴史や文化についても詳しく紹介している。ぜひ、この「棚田の応援団」を読んで、棚田の魅力を再発見しよう!

ネット上で偶然、山口県美祢市にある鍾乳洞「秋芳洞の百枚血」の写真を見て度肝を抜かれた。石灰水が波紋状に固まって、いくつもの血が曲線を織りなして重なっているように見えるため、百枚血と呼ばれるらしいが、その形状はまさに棚田なのだ。興味があるけれど、なかなか行動に移れない。そんなあなたに、ぜひ読んでほしいのが、この「棚田の応援団」だ。ここでは、全国各地の美しい棚田の現状や、その保全の取り組みについて、詳しく紹介している。また、各地の棚田の魅力を伝えるだけでなく、その歴史や文化についても詳しく紹介している。ぜひ、この「棚田の応援団」を読んで、棚田の魅力を再発見しよう!

編集部から

ホームページの姿を見て

棚田ネットのWebサイトも見てみてください!



<https://www.tanada.or.jp>

棚田に吹く風

2019年 春号 Vol.111

発行 認定NPO法人 棚田ネットワーク

〒160-0023
東京都新宿区西新宿 7-18-16 トーシンハイム 704 号
Tel / Fax 03-5386-4001
e-mail : info@tanada.or.jp URL : www.tanada.or.jp
郵便振替口座 : 00100-7-151565